

横浜市教育委員会  
定例会会議録

- 1 日 時 平成27年9月4日（金）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 岡田教育長 西川委員 今田委員 間野委員 坂本委員 長島委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

# 教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成 27 年 9 月 4 日（金）午前 10 時 00 分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項  
第 35 回横浜市中学生英語祭 English Day Camp の実施報告について  
平成 27 年度 横浜子ども会議の開催報告について  
請願等報告（受理番号 74～88 教科書採択に関する要望書）
- 3 審議案件  
教委第 17 号議案 「平成 26 年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書」について  
教委第 18 号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について
- 4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

～傍聴人入室～

岡田教育長

ただいまから教育委員会定例会を開会いたします。

はじめに、会議録の承認を行います。8月5日の会議録の署名者は間野委員と坂本委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、前回8月21日の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

齋藤教育次長

### 【一般報告】

#### 1 市会関係

#### 2 市教委関係

##### (1) 主な会議等

○8/24 よこはま子どもピースメッセンジャー委嘱式

○9/1～ 心の教育ふれあいコンサート

##### (2) 報告事項

○第35回横浜市中学生英語祭 English Day Camp の実施報告について

○平成27年度 横浜子ども会議の開催報告について

#### 3 その他

○請願等報告（受理番号74～88 教科書採択に関する要望書）

それでは、一般報告を行わせていただきます。

まず、市教委関係ですが、主な会議等につきましては、8月24日、よこはま子どもピースメッセンジャー委嘱式が、日本丸メモリアルパークで行われました。岡田教育長に出席をしていただきました。よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト市長賞受賞者4名を11月にニューヨークにある国連本部等に派遣することになります。

続いて、9月1日、心の教育ふれあいコンサートが横浜みなとみらいホールで行われました。この心の教育ふれあいコンサートにつきましては、対象は市立全小学校の4年生、5年生、6年生のうちの1学年と、希望する特別支援学校の小学部の児童の皆さんに参加していただくことになっています。目的は、オーケストラ演奏の鑑賞を通して感性を磨き、心豊かに生きていこうとする資質や能力を育むと同時に、クラシックコンサート鑑賞時のマナーを学ぶこととでございます。9月1日から10月15日までの間に合計10日間、1回60分で1日2回公演を行うことになっております。

続いて報告事項ですが、第35回横浜市中学生英語祭English Day Campの実施報

告について、後ほど所管課より説明をさせていただきます。

続いて、平成27年度横浜子ども会議の開催報告について、これも所管課より続いて説明させていただきます。

その他ですが、請願等の報告につきまして、受理番号74から88、教科書採択に関する要望書について、報告をさせていただきます。これは教育長専決で回答する旨の報告でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

岡田教育長

報告が終了いたしました。御質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

特に御質問がなければ、第35回横浜市中学生英語祭English Day Campの実施報告について、所管課から報告いたします。

小口国際教育  
等担当部長

国際教育等担当部長小口でございます。よろしくお願いいたします。  
それでは、本件につきまして、国際教育課長から説明をいたします。

甘粕国際教育  
課長

国際教育課長の甘粕でございます。よろしくお願いいたします。

資料ですが、ホッチキス留めになっております第35回横浜市中学生英語祭English Day Campの実施報告でございます。まず、8月18日、19日の2日間でEnglish Day Campを開催いたしました。English Day Campの目的ですが、AETとの交流を通して、中学生が日本の文化や異文化を理解しようとする態度を育てること、そして、コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としております。2日間、基本的にはお子さんも全て英語を基本として活動するために、日頃の学習の成果も確認できるということになっております。

実施場所ですが、1日目及び2日目の午後については栄区にあります地球市民かながわプラザで開催いたしました。2日目の午前中のみ本郷中学校をお借りして開催しております。

参加人数ですが、生徒84人ということで、男子生徒が26人、女子が58人、それに対しましてAETが60人ということで、ほぼ1対1で会話をすることができております。

2日間の活動ですが、参加者全員がコース別に活動しております。コースは5つに分かれておまして、下のほうにコース別活動一覧というものがございますが、共通テーマをクールジャパンといたしまして、書道、日本の観光名所、日本の昔話、伝統の遊び、そして日本の祭りという5つのコースで開催しております。

主な実施内容ですが、まずオープニングセレモニーをした後で各コースに分かれて自己紹介などを午前中に行いました。1日目の午後と2日目の午前中には、コース別のアクティビティということで、2日目の最後のショータイムに向けてAETと子供たちがどんなことで自分たちの活動を見せるかという練習をしております。

活動の様子ですが、右側のページを御覧ください。「当日の様子」とございますのが、2日目のショータイムの様子を中心に撮影したものでございます。まず左上、日本の昔話コースですが、この写真は笠地蔵ですけれども、英語劇ということで、笠地蔵と浦島太郎の2本を行いました。小道具作りから演出もAETと日本人の生徒と一緒にやるというような形で進めました。

その右が日本の名所コースということで、こちらはコースの中に入っているお子さんとAETが6グループぐらいに分かれまして、それぞれが行きたい場所を

選んで、自分たちでプレゼンテーションをするということで、ショータイムの際には、その中で投票で選ばれた2グループしか発表できなかったのですが、発表したグループは沖縄と京都です。

その下の日本の遊びコースですが、写真にありますのは手遊びですけれども、それ以外にも囲碁・将棋、それから百人一首、コマ遊びですとか、だるま落としなどの活動をしました。囲碁・将棋については、本当は子供たちがAETに教えるのですけれども、子供たちも遊び方がよくわからないというところもありまして、AETと一緒にどうやってやるのだろう、というようなことを話し合いながら、みんなで楽しく活動しておりました。

その右が日本の祭りコースですが、こちらでは法被を着ておりますけれども、炭坑節をみんなで練習して踊りました。1日目の午後には、グループに分かれて日本のお祭りということで、「こんなところに行ったことがある」というようなことをみんなで話し合っ、発表しております。炭坑節以外に、炭坑節に合わせて自分たちのオリジナルダンスを作るということで、そのダンスを説明して、会場にいた皆さんに立っていただいて、一緒に踊っていただきました。

その下が書道コースですが、こちらに書いてある字は全部生徒がAETに一から教えて、見本を示して、書いたものでございます。四文字熟語で皆さんやりまして、その熟語の意味を生徒が説明するというようなこともやっています。右にあります、2日目の本郷中で活動している際に、長島委員にも視察に来ていただきまして、全体のコースを見ていただいております。

2枚目を御覧いただければと思います。こちらですが、2日目の最後に生徒、引率の日本人の教員、そしてAETにアンケートを採らせていただいた内容でございます。イベントに関しては、どのアンケートも「良い」、「おおむね良い」というところがほとんどでした。私たちが見ている間も、きっとすごく楽しくやっているのだろうなということが分かるような様子でした。

生徒たちの主な感想につきましては、(7)「全体の感想、改善点、課題など」の項目では、「英語が楽しいということが分かった」ですとか、「もっと回数を増やしてやってもらいたい」ですとか、あと「分からない英語でもジェスチャーなどをすれば通じるのだなということも分かった」ということで、前向きな意見が多かったです。

(8)「1日目・2日目の活動を通して印象に残ったこと」の「2日間の活動を通して印象に残ったこと」という項目では、「人種も言葉も違う人たちが協力して1つのものを作り上げられるという良い経験ができた」ということですか、「英語を話すのは日本語よりも3倍ぐらい大変だけれども、10倍ぐらい楽しかった」というような意見ですとか、余り英語が得意ではなさそうなお子さんも来ていたのですが、ほかの生徒さんたちが英語で話しているのを見て、「自分もできるようになりたいなと思った」というような意見がありました。

(9) 番の「プラスになったこと、今後こうしていきたいと思うこと」という項目では、やはり「英語を頑張りたい」という意見がいくつかありましてし、「高校生になったら留学をしたい」というようなお話もありました。「文法に困っても、伝える意思が大切なので、単語を並べても何とか伝わるようにコミュニケーションを取っていきたい」というようなお話をいただきました。

先ほど申しあげましたEnglish Day Campの目的は、お子さんたちの感想を見てもかなり達成できているところではないかと思っております。

人数が84人ということで、余り多くなかったのですが、その感想なども含めて学校にもお知らせをして、来年度はもう少し参加を増やしていければいいなと思っております。本日は、中心となってEnglish Day Campの準備をしました当課の

|          |   |
|----------|---|
|          | F Cのデレック・オデルも、一言感想をと思つて連れて参りました。  |
| オデル職員    | 中学生もAETも、楽しく英語でコミュニケーションできたと思います。   |
| 甘粕国際教育課長 | 報告は以上でございます。  |
| 岡田教育長    | 報告が終了いたしました。御質問等がございますでしょうか。どうぞ。  |
| 西川委員     | これは何回目でしたっけ。35回ということですよ。昨年より参加人数が減っているのか、それとも増えているのか、その辺を教えてください。   |
| 甘粕国際教育課長 | 実は、昨年度とやり方を少し変えまして、横浜の中学校英語研究会がずっとやっておりましたのが35回ということなのですが、昨年度、教育委員会としては、別にEnglish Day Campというものをやっております、その2つを合わせて開催したので、35回目ということになります。昨年度までのEnglish Day Camp、私も教育委員会がやったものについては、子供は65名参加ということでしたので、それに比較すると84人ということで、人数が増えています。中学生英語祭ということで、中学校英語研究会がやっていたものは1日の開催でしたので、もう少し人数が多くて、100人程度と聞いております。 |
| 岡田教育長    | どうぞ。  |
| 西川委員     | 中学校が146校ですね。その中で84人というのは少ないと実は思っているのですね。できれば、1人それぞれの学校から出て、広めてもらえると良いですね。というのは、5年後にオリンピック・パラリンピックもありますので、いろいろな国の方が見えたときに、自信を持っておもてなしができたらいいと感じているところもあるので、是非来年度は少し宣伝を上手にして、参加者を増やしていただけたら良い活動だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。  |
| 岡田教育長    | どうぞ。  |
| 長島委員     | 視察させていただいて、本当に生き生きと楽しそうに活動していました。子供たちもそうですし、AETの方々も習字のはらいとか、あと将棋の進み方が分からないので「どう？」なんて言ったりして、教えている子供が分からないと、そういうことを学ぶことで日本文化の大切さも逆に彼らが学ぶことができたのもいいのかなと思ひました。是非、各学校でこういうことが取組めるような礎になるといいなと思ひましたので、また未来に向けて頑張ってください。   |
| 岡田教育長    | どうぞ。  |
| 間野委員     | 大変お疲れ様でした。西川委員とも関係があるのですけれども、やはり目標とする人数をきちんと定めて、定員があるのかないのか分からないのですけれども、それに達するように努力をしたほうがいいと思ひます。さらに、少し厳しく見ますと、この目的を達成するためにこの方法でなくてはいけぬのか、ほかのやり方もいろいろあるのではないのかと、効率だけを優先させてはいけぬのですが、コミュニケーションとかいろいろな学習成果の発揮というのであれば、多  |

分ほかの方法もあります。夏休みのお盆明けのところでみんな集まってよく努力されているのだと思うのですけれども、一方で我々は多忙感の問題なども取り上げていますから、参加した方々の満足感も大事ですが、少し客観的に見て、せっかく新しい課を作ったこともありますし、目的達成のためにどんな方法があるのかという、そういう検討もされてはどうかと思います。

甘粕国際教育  
課長

ありがとうございます。このほかにもコミュニケーションをなるべく取っていただけるようにということで、中学校でスーパーイングリッシュプログラムというものを昨年度から始めております。今年度は全校で1回はやってほしいという願いをしております、そこには自分の学校のAETに加えて、ほかの学校のAETも少しその日は譲っていただいて、5人に1人ぐらいAETがついて、子供たちがもっとコミュニケーションをネイティブスピーカーの方と取れるようにというような取組も行っております。また、小学校でもイングリッシュビレッジ、英語村というものをやっております、そこにもAETが何人も来て、英語の活動を楽しみながらやりましょうというような取組もしておりますので、そういったものも今いただいた御意見のように広めていけるといいかなと思っております。

岡田教育長

どうぞ。

坂本委員

今皆様がおっしゃったことの延長なのですけれども、やはりAETということで限定すると、そこに人数の限界がありますよね。それから、AETの方の負担が増えますよね。だから、そういう意味で、もっとこの地元にはたくさん英語を話す市民がいるわけですから、そういう市民の方に協力していただければ、もう外国に在住した人なんか、山といるわけですよね。ですから、何も訓練しなくても、趣旨だけ言えばやってくれる人もいます、そういう考えを持ったことはあるのですか。

甘粕国際教育  
課長

YICAサポーターというものがあまして、基本的にはAETはどの学校にもいるのですけれども、AETでは足りないという部分もありますので、そういう場合には地域の、今坂本委員におっしゃっていただいたような、英語を話すことができるような、地域の方に御協力をいただいて授業を一緒に作っていただくというような取組も行っております。イベントという意味では今までやったことはございませんので、そういったことについても、御協力いただけるのかということも今後考えていきたいと思っております。

岡田教育長

どうぞ。

坂本委員

むしろ、イベントだからこそ、お祭り気分で出てくださる方がたくさんいらっしゃるし、誇りを持って出てくださるので、そういうのをしたらいいと思います。もう一つは、AETの方も日本の社会でいろいろ考えていらっしゃると思うのですよ。そういう方が、英語を話して海外で生活した方とAETの方自身が接触するというのも、子供だけではなくて、また協力の輪が広がることもあると思うので、お考えがあるようでしたら結構ですから、いつかそういうのが実現するようにお考えいただきたいと思っております。

岡田教育長

どうぞ。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 今田委員            | <p>これは両方とも栄区で実施したでしょう。私も実は覗きに行こうと思ったのですが、「栄区までは遠いな」なんて思って。そういう意味でいくと、余り難しくいろいろ考えてしまうと大変なのですけれども、実施できる範囲で、場所を幾つかに分けて何回か行こう、例えば北部のどこかでも、などということを行うと、効果がある方法ではないかと、そのように思いましたから、何箇所かで行うというのも1つの方法かと思えます。勝手な意見ですけれども。</p>  |
| 岡田教育長           | <p>いろいろ御意見をいただきました。また研究して、次につなげていきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、次に、平成27年度横浜子ども会議の開催報告について、所管課から御報告いたします。</p>   |
| 伊東健康教育・人権教育担当部長 | <p>健康教育・人権教育担当部長の伊東です。今年度で3回目になります横浜子ども会議が全体会まで終わりましたので、その内容について御報告させていただきます。担当の課長から御説明します。</p>  |
| 山川人権教育・児童生徒課長   | <p>人権教育・児童生徒課長の山川でございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>お手元の資料に基づいて報告をさせていただきます。今部長からありましたとおり、本年度、第3回目を迎えた横浜子ども会議が8月24日の全市子ども会議をもって無事に終了いたしましたので、報告をさせていただきますと思えます。</p> <p>横浜子ども会議につきましては、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、全ての校種の子供たちの代表が集まって、異年齢・異校種の子供たちがお互いに交流する中で成長していくこと、また、1つのテーマに沿って話し合い、その話し合った内容を各学校に持ち帰って、子供たちの主体的な取組に繋げていく、この2つの大きな目的の中で、3回目の開催となりました。</p> <p>今年度のテーマは、資料にありますとおり、「横浜子どもアクションの具体的な取組を広げよう」、この横浜子どもアクションにつきましては、資料の左下、青い点線にあるとおり、昨年度第2回の横浜子ども会議で作成されたもので、一人ひとりがコミュニケーションを取っていくことで分かり合える環境をつくっていく、学校としてお互いのきずなを強めるための活動をしていく、町の人と一緒に取り組むことを考えよう、とこの3つのアクションに基づき、今年度は相手と心から向き合うために、ネットとの関わりを考えようという具体的な目標を持って、横浜子ども会議を開催いたしました。</p> <p>参加児童生徒につきましては、小学校は各学校から6年生1名、中学校は学年を問わず各校1名、高校生につきましては、全市立高等学校から20名、特別支援学校につきましては、本年度は上菅田特別支援学校、日野中央高等特別支援学校、盲特別支援学校から代表生徒が参加しました。今年の大きな特徴は、1回目の各区横浜子ども会議、高校横浜子ども会議に参加した代表児童生徒が、2回目の全市横浜子ども会議にも全ての代表児童生徒が参加するような形をとりました。</p> <p>会議の内容についてですが、各区横浜子ども会議は7月1日から16日、約2週間にわたって18区で行われました。高校横浜子ども会議につきましては、7月13日の月曜日に開催しております。各区横浜子ども会議、高校横浜子ども会議では、ネットの利用で心配なこと、大切にしたいこと、そして学校で取り組めそうなことについて、小学校・中学校では、区ごとに小中一貫ブロックの話し合いをスタートして、高校生は、20名が集まって話し合いを活発に進めることができました。お手元の資料の写真にあるように、非常に良い話し合いができたと思っております。</p> |

います。今年は1つの区で、警察署と行っております防犯サミットと、横浜子ども会議を同時に開催するなど、昨年に比べて工夫が見られたと思っています。

裏面でございますが、全市横浜子ども会議は8月24日に産貿ホール1階のマリネリアで開催しました。先ほど申し上げましたとおり、全代表児童生徒が集まるということで、本年度は午前中が南部・西部、午後が北部・東部と2回に分かれましたが、全児童生徒が集まって話し合いをすることができました。当日は柏崎副市長に御挨拶をいただき、参加の子供たちに激励の言葉、そして期待の言葉をいただきました。そして、教育長、それから西川委員、長島委員にも御参加いただき、多くの先生方が見守る中で、子供たちは良い話し合いができたと思っています。

(1) 番の「話し合いの内容」についてですが、人と人とのつながり、コミュニケーションの大切さについて、困ったときに友達に相談することや、あるいは家族・友人と直接話すこと、顔が見える関係づくりの大切さなどが話題に上がっていました。また、ネットの問題を解決するための取組としては、学校で子供たち自身が集会を計画して、ネットで実際に起きていること、これを伝えていくこと、あるいはネットやメールを利用する時間を家族や友達とともに、ルールを決めていくことの大切さ、そして危険に気づいても一人では行動に移せないのも、今日のようにお互いに仲間同士で話し合うことの大切さなどが話し合われました。

小学生から高校生までが参加ということで、全体子ども会議の最後に高校生から発表していただきましたが、その高校生からは、今日学んだことは大人になってからも役立つ、適応する力を是非身に付けてほしい、そういった激励の言葉や、学校に持ち帰ることで、お互いに学校で伝えて話し合うことが今日の会議の最終的な目標なのだというような話をしてもらうことができました。

(2) 番の「会議の様子」ですが、本年度は全員が参加するというので、午前・午後ともに250名以上の子供たちが集まるということで、ポスターセッションという形をとって、発表をする子供たち、そしてそれを聞いて意見交換をしていくという場面を会場の中に10カ所くらい作って、全員が発表したり、話し合おうという機会をつくることができたことは、非常に意味があったと思います。

(3) 番の高校生の代表者の振り返りの中で、小中学生が非常に真剣に取り組んでいる姿に感動していること、小中学生の話し合いがとてすばらしいという激励の言葉があるとともに、高校生自身がそこで学んだことについてしっかり話されたこと、特に、特別支援学校の代表の生徒が、ふだん小中学生と接する機会がないので、一緒に活動できてとてもうれしかったと、その言葉はとても参加している子供たちに伝えるものがあり、この横浜子ども会議の1つの意味だったと感じているところでございます。

最後に、今後についてでございますが、全市横浜子ども会議で話し合った内容を学校へ持ち帰り、各学校の子供たちの主体的な実践につなげるよう考えていきたいと思っています。加えて、この子ども会議の内容を共有するために広報誌を作成し、全児童生徒に配付していく予定でございます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御質問・御意見等がございましたら、お願いいたします。

西川委員

私も参加させていただいて、去年より人数が多くて、広がりがあったのかなと思ったのですが、なかなか良い意見がたくさん出ていました。このネットの

問題につきましては、すごく私も危惧しているところがありまして、特にLINE等につきましては、子供たちがもう閉口している、中毒になるような部分もあって、家庭学習にも影響している状況もあるように感じています。できれば、子供たちのほうから、こんな意見が出てほしいとずっと見て回ったのですが、おかげさまで子供たちからもそういう意見が出てきました。要は、ルールを守りましょうとか、それから相手のことを考えようというのが、子供たちから出てきたということで、とても意義があると感じました。是非これから、高校生も言うておりましたが、学校に持ち帰るとあるのですけれども、ただ持ち帰って、共有して、それで終わりではなくて、どんな話し合いができたかというのを吸い上げる機会があると、とても良いと思いますし、また次に発展するのではないかと思います。多忙感になってしまうと思うのですが、なにかうまい取組があったら、またそれを広げるというようなことができれば良いと思います。これでおしまいではないと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

岡田教育長

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

西川委員

すみません、もう1つなのですが、県警の方が来てくださっていましたね。そうしましたら、少しお話を伺うことがあったのですけれども、ある県で保護者が立ち上がったようですが、メールなどをしない時間を決めて、もうこれ以降はやらないと決めてある地区があるそうです。子供の反応をうかがうと、もうすごくほっとしたということです。その間は自分の時間に充てられるので、とてもほっとしたということをおは聞いて、やはり子供も困っているのだなというのを感じました。以上です。

岡田教育長

ほかには。どうぞ。

長島委員

子供たちの素直な言葉が聞けて良かったと思います。意外に「私は持っていない」とか、「自分のやることがたくさんあるから必要ない」というようなことを言っている中学生がいて、よく分かっているなど。必要なことをやっていけば、携帯なんて触っている時間はないはずだというような意見があったときに、今、西川先生がおっしゃったように、ほっとする時間が必要なのだろうということを、自分の時間を作ってあげたいと思いました。ですから、今、西川先生がおっしゃったように、何かそういう取組ができると良いですね。感想です。

岡田教育長

ほかには何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ほかに御質問・御意見がなければ、次に請願等報告として、8月6日以降に受け付け、各委員に配付しております教科書採択に関する要望書について、事務局から説明をいたします。

古橋総務課長

総務課長の古橋でございます。それでは、説明いたします。

受理番号74から88については、横浜市教育委員会により行われた横浜市立学校使用教科書の採択の手續に関する請願及び陳情となっております。これらはいずれも教育長に委任する事務等に関する規則に基づき、教育長に専決させる請願及び陳情として回答させていただきます。

考え方は以上でございます。

岡田教育長

事務局から説明がありました受理番号74から88の要望書等について、何か御意

見等がございましたらお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

特に御意見がなければ、報告のとおり対応をさせていただきます。  
傍聴の方、御静粛をお願いいたします。

次に、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第17号議案「平成26年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書」については、市会への報告案件であり、事前に公開することにより教育行政の円滑な運営に支障が生じる案件のため、また教委第18号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」は人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、教委第17号議案及び教委第18号議案は、非公開といたします。審議に入る前に、そのほか、何かございますでしょうか。

では、事務局から報告をお願いいたします。

古橋総務課長

それでは、報告させていただきます。

8月19日に個人の方1名から、8月22日に1団体から、8月24日に個人の方1名から、8月28日に2団体から、教科書採択に関する要望書等が提出されました。また、8月24日に1団体から自衛隊演習の見学に関する要望書が提出されました。これらの要望書等につきましては、事務局で対応を調整の上、教育委員会で審議が必要な場合は、次回以降にお諮りしたいと思います。委員の皆様は内容の御確認をよろしくお願いいたします。

次回の教育委員会臨時会は、9月18日、金曜日の午前10時から開催する予定です。よろしくお願いいたします。

以上です。

岡田教育長

よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会臨時会は9月18日、金曜日の午前10時から開会する予定です。別途、通知いたしますので、御確認をお願いします。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方は御退席をお願いいたします。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第17号議案「平成26年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書」について

(原案のとおり承認)

教委第18号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」

(原案のとおり承認)

岡田教育長

本日の案件は以上です。  
これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時25分]